

本時のねらい

・話を聞いて、操作したり、工作したりすることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・ロイロノート（学習計画）を使い、見通しをもつことができる。
・話を聞き、PC を操作し自分の考えを表現（オリジナル弁当・なかまわけ）することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ タブレット PC ・ ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○本時の見通しをもたせ、めあて・課題を確認する。 めあて「はっぴょうしよう」 【写真 1】	○学習計画を確認し、本時の課題について理解し、見通しをもつ。
展開 (30分)	○工作（リースをつくろう。） ○オリジナル弁当をつくろう。（PC 活用） 【写真 2】 （好きな具材を選び、弁当箱の画像に移動させる。） ○なかまわけ（PC 活用） 【写真 3】 （イラストを①シルエットと合う場所に移動させる。 ②イラストを種類ごとに Y チャートを使って分類する。）	○前時をふまえ、自分で考えて操作し、オリジナル弁当を作る。 オリジナル弁当を発表する ○シンキングツールを使い、家にあるもの、学校にあるもの、町にあるものに仲間分けをする。
まとめ (5分)	○全体のふりかえり ○感想を発表する。 ・自分でお弁当を作るのが楽しかった。 ・なかまわけが得意になった。	○振り返りを顔マークにすることで、分かりやすく自分の気持ちを表現することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】本時のめあて、課題を確認している場面



【写真 2】オリジナル弁当を作成している場面



【写真 3】なかまわけをしている場面

児童生徒の反応や変容

・課題が明確になっているので、見通しをもって取り組むことができた。オリジナル弁当や仲間分けでは、ゲーム性があり、楽しく意欲的に取り組む様子が見られた。
・当初の顔マークの振り返りは、笑顔マークがほとんどだったが、工作や PC 操作など、難しいと感じた時には、難しかったマークに丸をする児童がいた。自分の気持ちにあった顔マーク選択し表現できるようになってきた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・オリジナル弁当やなかまわけの教材を作成することで、異なる学年が集まる自立活動でも有効的に PC を使うことができた。
・ロイロノートの特徴として、画像を移動するときに、画像が自動的に小さくなってしまふことがあるが、教材を工夫することで、児童がスムーズに画像を移動することができた。